

# ファーストイーサネット・スイッチ CentreCOM® FS708EX V1 ユーザーマニュアル

この度は、CentreCOM FS708EX V1をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。  
本製品は、10BASE-T/100BASE-TXポートを8ポート装備した外部電源型ファーストイーサネット・スイッチです。  
本書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。また、お読みになった後も大切に保管してください。

POWER LED(緑)  
本体に電源が正常に供給されているときに点灯します。

LNK/ACT LED(緑)  
ポートと接続先機器がリンクしたときに点灯します。また、ポートがバケットを送受信しているときに点滅します。

100M LED(緑)  
ポートが100Mbpsで動作しているときに点灯します。消灯している場合は、10Mbpsで動作していることを示します。

FULL LED(緑)  
ポートがFull Duplexで動作しているときに点灯します。消灯している場合は、Half Duplexで動作していることを示します。

DCジャック  
ACアダプターのDCプラグを接続するためのコネクタです。

2. タッピングスクリューを埋め込む位置を決めます。このとき、タッピングスクリューの間隔が本体底面にある2つの取り付け穴の間隔と同じになるように注意してください。

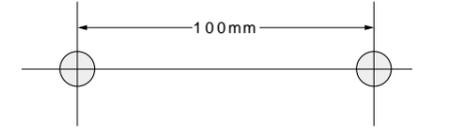


図3 壁への取り付け寸法

ネジのたない壁への取り付けには、プラスチックアンカーを使用します。プラスチックアンカーは、あらかじめきりやドリルなどで開けておいた穴に挿し込み、かなづちで軽くたたいて壁に埋め込みます。穴はプラスチックアンカーがやっと入る程度の大きさにしてください。穴が大きすぎると、がたつきの原因となります。

3. ネジ頭と壁の間を1mmほど残して、タッピングスクリューを壁または、プラスチックアンカーにねじ込みます。

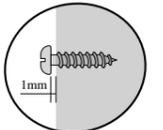


図4 タッピングスクリューのねじ込み

ネジ頭を壁から出し過ぎた状態にてご使用になりますと、本体を壁に取り付けた際に製品内部を圧迫し、故障の原因となります。

4. 壁から突き出ているネジ頭を本体底面の取り付け穴にさし込むようにして、本体を壁に取り付けます。ネジ頭がスロットにはまるまで本体をスライドさせ、しっかり固定させてください。

## 別売マグネットキットの取り付け

別売の「マグネット Kit M」を使用すると、OAデスクの横などの垂直な場所に設置することができます。

1. プラスドライバーを用いて本体底面のゴム足を取り外します。(ゴム足は大切に保管しておいてください)
2. ゴム足を固定していたネジを用いて、マグネットを本体に固定します。

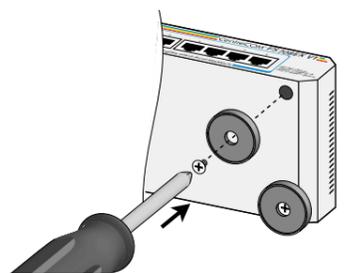


図5 マグネットキットの取り付け

マグネット使用および取り扱い上の注意

設置面の状態によってはマグネットの十分な強度を得られないことがあります。

取り付けの際は機器およびケーブルの重みにより機器が落下しないように確実に取り付け・設置してください。ケガ・故障の原因になることがあります。

## 設置するまえに

設置場所  
本製品を設置する場所については、次の点にご注意ください。

直射日光のあたる場所、多湿な場所、ほこりの多い場所に設置しないでください。  
傾いた場所や、不安定な場所に設置しないでください。  
十分な換気ができるように、本体側面をふさがないように設置してください。  
テレビ、ラジオ、無線機などのそばに設置しないでください。  
コネクタの端子にはさわらないでください。(静電気を帯びた手(体)でコネクタの端子に触れると、静電気の放電により故障の原因となります。)

電源  
必ず、付属のACアダプターを使用し、AC100Vのコンセントに接続してください。  
それ以外のACアダプターやコンセントに使用すると、発熱による発火や感電の恐れがあります。



図2 ACアダプター

## 壁に取り付ける場合

付属のウォールマウント用タッピングスクリューを使用すると、本製品を壁などの垂直な面に取り付けることができます。

石膏ボードやベニヤなど、中空になっている壁に取り付ける場合は、付属のプラスチックアンカーを併用してください。

本体とUTPケーブルを合わせ、最大5kg程度の垂直重量が加わりますので、しっかりとした壁に取り付けてください。手で押しただけでへこんでしまうような壁には取り付けしないでください。

1. 次の点を考慮しながら、設置場所と設置方向を決めてください。
- ・電源ケーブルとUTPケーブルの接続が可能であること
- ・LEDの表示が監視可能であること

## 特長

最大4,000個のMACアドレス登録数をサポート  
オートネゴシエーション機能をサポート  
フローコントロール機能をサポート(Full Duplex時: IEEE802.3x フローコントロール、Half Duplex時: バックプレッシャー)  
外部電源型  
MDI/MDI-X自動切替機能をサポート、すべてのポートにて簡単にカスケード接続が可能  
ポートごとの通信状況が一目でわかるLEDを装備  
19インチラックマウントキットAT-RKMT-J08(別売)対応  
デスクサイドやスチール製パーティションに取り付け可能なマグネット Kit M(別売)対応

## 梱包内容

最初に梱包箱の中身を確認して、次のものが入っているかを確認してください。  
また、本製品を移送する場合は、工場出荷時と同じ梱包箱で再梱包されることが望まれます。  
再梱包のために、本製品が納められていた梱包箱、緩衝材などは捨てずに保管しておいてください。

CentreCOM FS708EX V1 本体  
ACアダプター  
ウォールマウントキット(タッピングスクリュー2個、プラスチックアンカー2個)  
製品保証書  
製品仕様書(英文)  
壁面取付説明書(英文)  
調査依頼書  
お客様インフォメーション登録カード  
シリアル番号シール(3枚)  
ユーザーマニュアル(本書)

## 各部の名称と機能

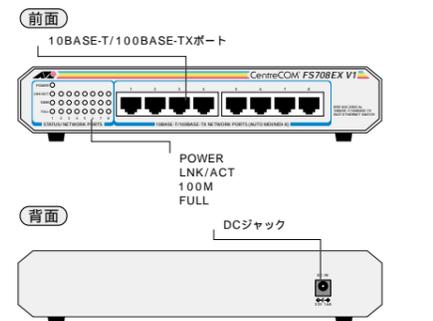


図1 外観図  
10BASE-T/100BASE-TXポート  
10BASE-TX、または10BASE-TのUTPケーブルを接続するためのコネクタです。これらのポートはMDI/MDI-X自動切替機能とオートネゴシエーション機能をサポートしているため、ケーブルの種類(ストレート/クロス)や接続先ポートの種類(MDI/MDI-X)に関わりなく、最適な通信速度(10Mbps/100Mbps)と通信モード(Full Duplex/Half Duplex)を自動設定します。

## 安全のために

必ずお守りください

**警告**  
下記の注意事項を守らないと火災・感電により、死亡や大けがの原因となります。

分解や改造をしない  
本製品は、取扱説明書に記載のない分解や改造はしないでください。火災や感電、けがの原因となります。

雷のときはケーブル類・機器類にさわらない  
感電の原因となります。

異物は入れない 水は禁物  
火災や感電の恐れがあります。水や異物を入れないように注意してください。万一水や異物が入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

表示以外の電圧では使用しない  
本製品に付属のACアダプターは100Vで動作します。

付属のACアダプター以外で使用しない  
火災や感電の原因となります。必ず、付属のACアダプターを使用してください。

コンセントや配線器具の定格を超える使い方はしない  
たこ足配線などで定格を超えると発熱による火災の原因となります。

通風口はふさがない  
内部に熱がこもり、火災の原因となります。

湿気やほこりの多いところ  
油煙や湯気のある場所には置かない  
火災や感電の原因となります。

設置・移動のときは電源プラグを抜く  
感電の原因となります。

ACアダプターのコードを傷つけない  
火災や感電の原因となります。

## ご使用にあたってのお願い

静電気注意  
本製品は、静電気に敏感な部品を使用しています。部品が静電破壊する恐れがありますので、コネクタの接点部分、ポート、部品などに素手で触れないでください。

次のような場所での使用や保管はしないでください

- ・直射日光の当たる場所
- ・暖房器具の近くなどの高温になる場所
- ・急激な温度変化のある場所(結露するような場所)
- ・湿気の多い場所や、水などの液体がかかる場所(湿度80%以下の環境でご使用ください)

ふさがない

設置場所注意

プラグを抜け

傷つけない

- ・振動の激しい場所
- ・ほこりの多い場所や、ジュータンを敷いた場所(静電気障害の原因となります)
- ・腐食性ガスの発生する場所



取り扱いがはていまいに  
落としたり、ぶついたり、強いショックを与えないでください。

## お手入れについて

清掃するときは電源を切った状態で  
誤動作の原因となります。

機器は、乾いた柔らかい布で拭く  
汚れがひどい場合は、柔らかい布に薄めた台所用洗剤(中性)をしみこませ、強く絞ったものでふき、乾いた柔らかい布で仕上げてください。

お手入れには次のものは使わないでください

石油・みがき粉・シンナー・ベンジン・ワックス・熱湯・粉せっけん(化学ぞうきん)をご使用のときは、その注意書に従ってください)



- 禁止** 機器をマグネットで高所に取り付けないでください。落下によるケガ・機器破損の恐れがあります。
- 禁止** 振動・衝撃の多い場所や不安定な場所に設置しないでください。落下によるケガ・故障の原因となることがあります。

**禁止** OA デスク等にマグネットで機器を取り付けたまま、機器をずらさないでください。被着面の塗装などに傷がつく恐れがあります。

**禁止** マグネットにフロッピーディスクや磁気カードなどを近づけないでください。磁気の影響により記録内容が消失される恐れがあります。

**禁止** 機器をマグネットでパソコンおよびディスプレイなどの電子機器には取り付けないでください。

## 19 インチラックに取り付ける場合

別売の「19 インチラックマウントキット AT-RKMT-J08」を使用すると、本製品をEIA規格の19インチラックに取り付けることができます。

- 電源ケーブルや各メディアのケーブルをはずします。
- 「19 インチラックマウントキット AT-RKMT-J08」付属の取扱説明書に従い、マウントブラケットを組み立てます。
- ブラストライバーを用いて本体底面のゴム足を取り外します。(ゴム足は大切に保管しておいてください)
- 「19 インチラックマウントキット(AT-RKMT-J08)」付属のM3x6mm ナベネジを用いて、本体にマウントブラケットを両側ともしっかりと固定します。

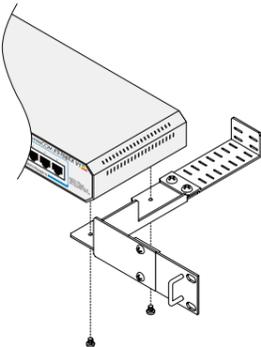


図6 ラックマウントブラケットの取り付け

- 19 インチラックの希望する位置に本体を合わせ、適切なネジ別途ご用意くださいでしっかりと固定します。

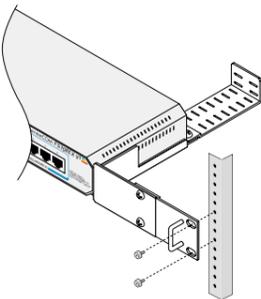


図7 19 インチラックへの取り付け

## 接続のしかた

ケーブル  
すべてのケーブルが機器間を接続するために適切な長さであることを確認します。

	種類		最大距離
10BASE-T	UTPケーブル	カテゴリ-3以上	100m
100BASE-TX	UTPケーブル	カテゴリ-5	100m

起動と停止  
ACアダプターのDCプラグを本体背面のDCジャックに接続し、ACプラグを電源コンセントに差し込むと起動します。ACアダプターのACプラグを電源コンセントから抜くと停止します。

本製品には電源スイッチがありません。ACアダプターを電源コンセントに接続した時点で、電源が入りますのでご注意ください。

ACアダプターのACプラグを電源コンセントに差し込んだまま、DCプラグを抜かないでください。感電事故を引き起こす恐れがあります。

通信速度 / 通信モードの設定  
接続先の機器の通信モードは、次の表の印の組み合わせになるように設定してください。IEEE802.3u規格のオートネゴシエーション機能をサポートしていない製品と本製品の10BASE-T / 100BASE-TXポートを接続する場合は、接続先の機器の通信モードをHalf Duplexに設定してください。

		自ポート CentreCOM FS708EX V1 オートネゴシエーション
接続先 ポート	10M Half 固定	
	10M Full 固定	
	100M Half 固定	
	100M Full 固定	
	オートネゴシエーション	

- 接続手順
- 本体背面の10BASE-T / 100BASE-TXポートにUTPケーブルを接続します。
  - ネットワークに接続する端末に10BASE-T / 100BASE-TX ネットワークインターフェースカードが正しく取り付けられていることを確認し、UTPケーブルのもう一方を端末のネットワークインターフェースカードに接続します。
  - ACアダプターのDCプラグを本体背面のDCジャックに接続し、ACプラグを電源コンセントに差し込みます。
  - 本体前面のPOWER LED(緑)が点灯することを確認します。UTPケーブルが正しく接続され、接続先の機器の電源が入っていれば、接続したポートのLNK / ACT LED(緑)が点灯します。

## スタンドアロン

本製品は単純なスタンドアロンの環境で使用できます。本製品と端末間のUTPケーブルの長さは100m以内にしてください。

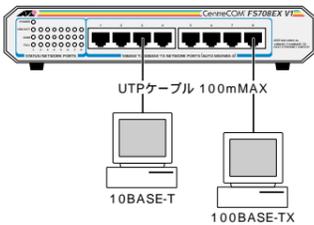


図8 スタンドアロンの接続例

## カスケード接続

本製品はすべてのポートにMDI/MDI-X自動切替機能を搭載していますので、ケーブルの種類(ストレート / クロス)や接続先のポートの種類(MDI/MDI-X)を気にすることなく、簡単にカスケード接続することができます。

カスケードの段数はネットワーク上で動作しているアプリケーションのタイムアウトによって制限される場合があります。

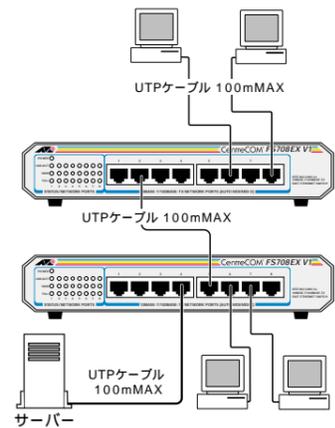


図9 カスケード接続の例

- 本体前面の任意のポートにUTPケーブルを接続します。
- UTPケーブルのもう一方の端を接続先の機器の任意の10BASE-T / 100BASE-TXポートに接続します。

## トラブルシューティング

「通信できない」とか「故障かな?」と思われる前に、次のことを確認してください。

POWER LEDは点灯していますか?  
POWER LEDが点灯していない場合は、電源ケーブルのコードに断線がないか、電源プラグが正しく接続されているか、正しい電源電圧のコンセントを使用しているかなどを確認してください。

LNK / ACT LEDは点灯していますか?  
LNK / ACT LEDは接続先機器と正しく接続されている場合に点灯します。点灯しない場合、以下のことを確認してください。

- 接続先機器に電源が入っているか確認してください。また、端末に取り付けられているネットワークインターフェースカードに障害がないか、ネットワークインターフェースカードに正しくケーブルが接続され、通信可能な状態にあるかなどを確認してください。

- UTPケーブルが正しく接続されているか、正しいUTPケーブルを使用しているか、UTPケーブルが断線していないかなどを確認してください。また、ケーブルの長さが制限を越えていないか確認してください。2つのネットワーク機器の直接リンクを形成するUTPケーブルは最長100mと規定されています(ただし、100MbpsのクラスIIのリピーターをカスケード接続する場合のリピーター間は5m以内としてください)。

- 特定のポートが故障している可能性もあります。ケーブルを別のポートに差し替えて、正常に動作するか確認してください。

- UTPケーブルに問題がないか確認してください。ケーブルの不良は外観からは判断しにくい(結線は良いが特性が悪い場合など)、他のケーブルに交換して試してみてください。

HUBの接続段数は正しいですか?

- リピーター(=HUB)の数が制限を越えていないか確認してください。

- イーサネット(10Mbps)の場合、カスケードできるリピーターの台数は、最大4台までとされています。

- ファーストイーサネット(100Mbps)の場合、クラスIIのリピーターは、1つのコリジョンドメイン内で2台までをカスケード接続することができます。その場合、リピーター間のケーブルの長さは5m以内としてください。クラスIのリピーターはカスケード接続することができません。

通信速度 / 通信モードの設定を確認してください。

本製品の10BASE-T / 100BASE-TXポートは、オートネゴシエーション機能をサポートしています。IEEE802.3u規格のオートネゴシエーション機能をサポートしていない製品と本製品の10BASE-T / 100BASE-TXポート接続する場合は、接続先の機器の通信モードをHalf Duplexに設定してください。

## 製品仕様

サポート規格	
	IEEE 802.3 10BASE-T IEEE 802.3u 100BASE-TX IEEE 802.3x Flow Control
スイッチング方式	
	ストア&フォワード
電源部	
定格入力電圧	AC100 ~ 120V
入力電圧範囲	AC90 ~ 132V
定格周波数	50 / 60Hz
最大入力電流	0.12A
平均消費電力	5.9W (最大6.1W)
平均発熱量	5.1Kcal/h (最大5.3Kcal/h)
環境条件	
保管時温度	-20 ~ 60
保管時湿度	95%以下(ただし、結露なきこと)
動作時温度	0 ~ 40
動作時湿度	80%以下(ただし、結露なきこと)
外形寸法 (突起部含まず)	
	210(W) × 107(D) × 38(H)
重量	
	600g (ACアダプター含まず)
アドレスエントリー数	
	4,000個 (最大)
アドレス保持時間	
	300秒
パケットメモリ容量	
	256Kbyte (スイッチングチップに内蔵)
適用規格	
EM規格	VCCIクラスB
安全規格	UL1950、CSA 22.2 No.950

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

## 保証

製品に添付されている「製品保証書」の「製品保証規定」をお読みになり、「お客様インフォメーション登録カード」に必要事項を記入して、弊社「お客様インフォメーション登録係」までご返送ください。「お客様インフォメーション登録カード」が返送されていない場合、修理や障害発生時のサポートなどが受けられません。

### 保証の制限

本製品の使用または使用不能によって生じたいかなる損害(人の生命・身体に対する被害、事業の中断、事業情報の損失またはその他の金銭的損害を含み、またこれらに限定されない)については、弊社はその責をいっさい負わないこととします。

### ユーザーサポート

障害回避などのユーザーサポートは、別紙の「調査依頼書(CentreCOM FS708EX V1)」をコピーしたものに必要事項をご記入の上、下記のサポート先にFAXしてください。電話による直接の問い合わせは、できるだけご遠慮ください。FAXで詳細な情報をお知らせいただくと、電話によるお問い合わせよりも、より早く問題を解決することができます。記入内容の詳細については、「調査依頼書のご記入にあたって」をご覧ください。

### アライドテレシス サポートセンター

Tel: ☎0120-860-772  
月～金(祝・祭日を除く) 9:00 ~ 12:00  
13:00 ~ 18:00

Fax: ☎0120-860-662  
年中無休・24時間受け付け

### ご使用のハードウェア機種について

製品名、製品のシリアル番号(S/N)、製品リビジョン(Rev)を調査依頼書に記入してください。製品のシリアル番号、製品リビジョンは、製品の底面に貼付されているシリアル番号シールに記入されています。

(例)

### お問い合わせ内容について

どのような症状が発生するのか、またそれはどのような状況で発生するのかを出来る限り具体的に(再現できるように)記入してください。エラーメッセージやエラーコードが表示される場合には、表示されるメッセージ内容のプリントアウトなどを添付してください。

### ネットワーク構成図について

ネットワークとの接続状況や、使用されているネットワーク機器がわかる簡単な図を添付してください。他社の製品をご使用の場合は、メーカー名、機種名、バージョンなどをご記入ください。

## おことわり

本書は、アライドテレシス株式会社が作成したもので、全ての権利を弊社が保有しています。弊社に無断で本書の一部または全部をコピーすることを禁じます。予告なく本書の一部または全体を修正、変更することがあります。改良のため製品の仕様を予告なく変更することがありますがご了承ください。本装置の内容またはその仕様により発生した損害については、いかなる責任も負いかねますのでご了承ください。

Copyright © 2001 アライドテレシス株式会社

## 商標

CentreCOMは、アライドテレシス株式会社の登録商標です。

## マニュアルバージョン

2001年6月 Rev.A 初版  
2001年8月 Rev.B 仕様変更